

Tanium 従業員デジタルエクスペリエンス(DEX)

従業員を常にハッピーにするデジタルエクスペリエンス (DEX) を実現。デジタルエクスペリエンスのパフォーマンスや、それに対する従業員の感情をリアルタイムで可視化し、従業員が自分で問題を修復できる自動の自己修復機能を提供

従業員のデジタルエクスペリエンスを大規模に監視・管理し、自動の自己修復機能を活用してエクスペリエンスを改善。Taniumを使えば、インフラが不要の単一プラットフォームで、エクスペリエンスをリアルタイムに可視化し、大規模に制御して改善点の洗い出しに役立つ豊富なデータを入手可能に。

企業が抱える課題：デジタルエクスペリエンスに関する従業員の満足度や生産性の維持

ハイブリッドワークの浸透により、週1回はリモートワークを許可している企業が多くあります。従業員にとってデジタルエクスペリエンスは、同僚とつながって協業し、仕事を進める上で唯一の手段となります。

しかし残念ながら、多くの企業では従業員のデジタルエクスペリエンスを監視、管理して改善するためのツールがそろっていません。ハイブリッド勤務する従業員のエンドポイントやアプリケーションで発生したパフォーマンスの問題を迅速に特定し、デジタルエクスペリエンスに対する従業員の満足度を確保することもままならず、従業員がヘルプデスクの手を借りることなく自分で問題に対処するための手段も提供できていません。また、従業員のデジタルエクスペリエンスを改善するために、管理可能な状態にして、IT戦略の軸に据えることも難しい状態です。

その結果、何が起こるのでしょうか？

58%

週1回以上リモートワークが可能
な米国人従業員の割合

38%

常時リモートワークが可能な
米国人従業員の割合

47%

デジタルエクスペリエンス
に大きな問題を感じている
従業員の割合



*Tanium DEXソリューションは
FedRamp認定を取得しています

生産性の低下

デジタルエクスペリエンスに問題があっても報告せずに我慢することで、生産性やエンゲージメント、定着率の低下につながる

ヘルプデスクの負担が増大

ヘルプデスクに慢性化した問題の解決依頼が多く寄せられ、担当者がより高度な戦略的業務に専念する時間をとれない

状況が可視化できない

経営層はDEXの監視・管理・改善が必要だと認識していても、個別のデバイスや総合的なエクスペリエンスを適切に可視化・制御することができない

解決策：従業員のデジタルエクスペリエンスを大規模に可視化・制御

Taniumを使えば、従業員デジタルエクスペリエンスを全社規模で管理できます。エンドポイントやアプリケーションのパフォーマンス、デジタルエクスペリエンスに対する従業員の感情をリアルタイムに可視化したデータと併せて、問題発生時に大規模な修復が可能なセルフサービスの自動実行機能を提供します。

Taniumを使えば、これらを実現できます。

- 従業員の生産性、エンゲージメント、定着率を向上
- ヘルプデスクのチケットを削減し、ITサポート部門の負荷を軽減
- 従業員のデジタルエクスペリエンスを単一ツールで可視化して、監視・管理・改善

「私は常にエンドユーザのエクスペリエンスを重視し、ベンダーや会社にも優先的に取り組んでもらってきました。IT部門の負担を軽減しながら、エンドユーザの満足度と生産性を維持できるTaniumのDEXのようなソリューションが登場したことを、大変うれしく思います」

Enterprise Strategy Group
シニアアナリスト
ゲイブ・クヌース氏

ユースケース	問題の修復	感情の調査	アクションにつながるインサイト
内容	従業員が利用するエンドポイントやアプリケーションの問題が、パフォーマンス低下を引き起こす前に対応	従業員の感情を測定して、デジタルエクスペリエンスの改善につなげる双方向のフィードバックを実施	データに基づくレポートをもとに従業員のデジタルエクスペリエンスを監視・測定・管理
現状の課題	まずは従業員がどのような問題を抱えているのかを把握できなければ、解決もできません。しかし従業員はエンドポイントやアプリケーションのパフォーマンスに問題があっても我慢することが多く、チケットを作成することなく効果の低い代替策でその場をしのいでしまいます。 Taniumがあれば、以下を実現できます。	従業員向けのデジタルエクスペリエンスを入念に用意しても、従業員の反応を把握できない、満足度を高めるための改善点を特定できないといった問題もあります。 Taniumがあれば、以下を実現できます。	今やデジタルエクスペリエンスは従業員のあらゆる活動の中心となっています。しかし、うまくいっているのかを判断し、体系的に改善するために十分なデータが揃っていないため、データに基づいた論理的なアプローチを推進できません。 Taniumがあれば、以下を実現できます。
Taniumのソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題をリアルタイムで監視し、従業員が自分で対応するための自動の自己修復機能を提供 ● 社内全体のシステムの問題をIT部門が検出・修復できることで、従業員デジタルエクスペリエンスを最適な状態に維持 ● 従業員の生産性、満足度、定着率を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員がデジタルエクスペリエンスに抱いている感情を把握 ● 全社および従業員単位で感情のスコアを測定・追跡管理し、経営層への報告や戦略的改善策に活用 ● 従業員とIT部門との関係性を改善し、良好な関係を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な定性的・定量的レポートを作成し、問題の発生箇所を特定 ● パフォーマンスのスコアを追跡管理し、全社およびエンドポイント単位でパフォーマンスのベースラインを設定 ● 問題修復や、生産性と満足度の向上に向けた対応策を計画 ● 自動の自己修復機能をカスタマイズし、企業固有の問題や事業部独自のアプリケーションにも対応 ● 従業員デジタルエクスペリエンスの管理を、IT戦略の主軸に

従業員のデジタルエクスペリエンスを監視・管理・改善するための可視化と制御機能を そなえたシンプルなエンドツーエンドのソリューション

幅広い機能を備えたTaniumで、ハイブリッドワークする従業員の満足度と生産性を向上し、ITサポート部門の負担を軽減

生産性

従業員が最もやりがいを感じることで、つまり「大きな成果をあげることに集中できる環境に。場所や規模を問わずエンドポイントやアプリのエクスペリエンスを監視し、発生しがちな問題の発生源を特定して解決。

- エンドポイントやアプリをリアルタイムで評価し、健全性、動作、正常稼働を確認
- 各種パフォーマンス指標（ハードウェアリソースの使用量、CPU使用率、ディスクの遅延、アプリの異常終了など）を監視
- エクスペリエンスの閾値越えを通知し、従業員が自分で対応できる自動のセルフサービス機能を提供
- 従業員の業務を妨げることなく、デバイスのパフォーマンスに関する問題を解決
- 問題解決や最適化に役立つ情報やインサイトが反映された（最新/過去の）パフォーマンスデータを提供

エンゲージメント

デジタルエクスペリエンスに対する従業員の感情を測定して改善。感情の調査をカスタマイズして、従業員とIT部門との双方向型フィードバックを実施

- 従業員と直接やり取りすることで、デジタルエクスペリエンスの改善箇所や最適な改善方法を特定
- 従業員の感情スコアをもとに、ユーザ感情のベースラインを設定して監視
- カスタム調査を作成し、エンドポイントやアプリのパフォーマンスに対する従業員の感情を測定
- 問題解決の手段として提供した自動実行機能やセルフサービスのワークフローが成果をあげているかを確認
- デジタルエクスペリエンスをより有効活用する方法をユーザに通知
- デジタルエクスペリエンスに関する従業員の満足度を測定し、改善するための定量的/定性的なフィードバックを実現

効率化

問題がダウンタイムを引き起こす前に解決し、ヘルプデスクへの問い合わせ件数を削減。エクスペリエンスに関する問題を予防的に検出して修復し、従業員が自分で問題を解決できるセルフサービスツールを提供。

- 設定した閾値に達したら、該当する内容（自動セルフヒーリングによる修復措置、ワークフロー、通知、アンケート）を従業員に送信
- 自動の自己修復機能をカスタマイズし、環境固有の問題や事業部固有アプリの修復ニーズも対応
- ServiceNowとの連携により、サービスデスクの関与が必要なケースの早期解決を促進
- パフォーマンス指標のパターンを特定し、問題の解決やパッチなどの変更による影響の判断に活用
- IT部門を事後対処型の火消し作業から解放し、本来の責務である高度な戦略策定に専念できる時間を捻出

デモでTaniumを体感！

従業員デジタルエクスペリエンス (DEX) のパフォーマンスや従業員の感情を監視し問題が顕在化する前の解決をサポートするTanium DEXソリューションを、デモでご紹介します。ぜひお申込みください

[詳細はこちら →](#)

業界唯一のコンバージド・エンドポイント管理(XEM)プロバイダであるタニウムは、複雑なセキュリティとテクノロジー環境を管理するための従来のアプローチにおけるパラダイムシフトをリードしています。デバイス間の包括的な可視性、統一されたコントロールセット、そして「機密情報と大規模インフラの保護」という単一の共有目的に向けた共通のタクソノミを提供する単一のプラットフォーム内にIT、コンプライアンス、セキュリティ、リスクを統合することで、タニウムは、すべてのチーム、エンドポイント、ワークフローをサイバー脅威から保護します。

www.tanium.jp をご覧ください。

© Tanium 2025